



今月の話題

| | |
|------------------------------------|-----|
| 第2次遊佐町教育振興基本計画 | 2P |
| 平成28年 下水道事業の会計決算状況 | 4P |
| 裁判の状況をお知らせします | 5P |
| 平成29年度 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣団員決定 | 6P |
| 平成30年 成人式 | 12P |
| ほか | |

子どもたちに夢を

第2次遊佐町教育振興基本計画

を策定しました



教育委員会では、平成23年3月に「遊佐町教育振興基本計画」を策定し、遊佐町の教育目標である「心豊かなたくましい町民の育成」をもとに基本施策を定め、計画的に推進してきました。

このほど、国や県の計画を参酌^(注1)しつつ、昨年度策定された「第8次遊佐町振興計画」をふまえ、第2次遊佐町教育振興基本計画検討委員会（委員長：中原浩子東北公益文科大学特任講師）や総合教育会議での協議を通し、「第2次遊佐町教育振興基本計画」を策定しました。

この計画は、2018（平成30）年度から2027年度までの10年間の本町の教育が向かうべき方向を明らかにし、コミュニティ・スクールの推進等の基本施策と具体的施策を設定しています。この計画に基づき、年次ごとに施策を推進していきます。



検討委員会（平成28年12月14日開催）でのワークショップの様子

基本目標

ふるさとを愛し、未来を拓く「いのち」輝く町民の育成

めざす人間像

- 学び** … 確かな学力・生涯学習
- 自立** … 人格形成・キャリアアップ
- 共生** … つながり（自然と地域と世界と）
- 貢献** … 公益の心（持続可能なまちづくり）

はぐくむ子ども像

<地域>に支えられ大人の背中を見ながら、志をもって「まなぶ」子どもたち

- 生命を慈しみ思いやりのある子
- 夢をもちたくましく生きる子
- 進んで学び深く考える子
- ふるさとに学び未来につなぐ子

計画の詳しい内容は、遊佐町役場HPからご覧いただけます。

● 圖／教育課総務学事係 ☎72-5891

地域全体で子どもと大人が育つ



コミュニティ・スクールの推進

遊

佐町ではこれまでも、PTAやまちづくり協議会をはじめとした地域と学校の連携を大事にし、地域ぐるみで学校教育を推進してきました。

今

後は、これまでの取り組みを更に進め、保護者や地域の学校運営への参画の機会を生かし、それぞれの立場で主体的に子どもたちの成長を支えていく必要があります。そのためにコミュニティ・スクール制度を導入し、地域の関係者からなる「学校運営協議会」を設置し、情報や課題を共有し、教育目標やめざすべき子ども像、学校経営の方向性等について熟議^(注2)を行い、学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築します。これにより学校・家庭・地域が共通したビジョンをもった学校運営を展開し、社会全体の教育力の向上を図りながら、地域とともにある元気な学校づくりに努めていきます。

由

利本荘市への先進地視察や、岐阜県での全国コミュニティ・スクール研究大会に参加したり、文部科学省コミュニティ・スクール推進員を招いての講演会を実施したりするなどして設立準備をしてきました。平成29年9月12日、遊佐小学校（遠田裕子校長）では第1回目の学校運営協議会が開催され、庄内地区では初めてのコミュニティ・スクール

の導入となりました。

こ

の際の熟議では、「こんな遊に話し合いがなされ、「遊佐を誇りに思い、それを自信にする子」、「自分が好きで友だちを大切にできる子」等いろいろな意見が出されました。その後「そのために大人ができることは何か」について議論し、「よりよい家族になる」、「食を通して感謝、親の苦労・期待を伝える」、「町の行事に親子で参加する」等の意見が集約されました。

全

体助言者の東北公益文科大学 武田真理子教授からは、「地域・学校・家庭（保護者）がめざす目標を確認し、共有することは大事です。三者が連携するには、それぞれの役割を明確にして日々実践することが肝要です。」というアドバイスもいただきました。

平

成30年度より、町内の全小・中学校で学校運営協議会を設置し、参加と協働による学校運営を推進します。



(注1) 他のものを参考にして長所を取り入れること。

(注2) 十分に議論をつくすこと。



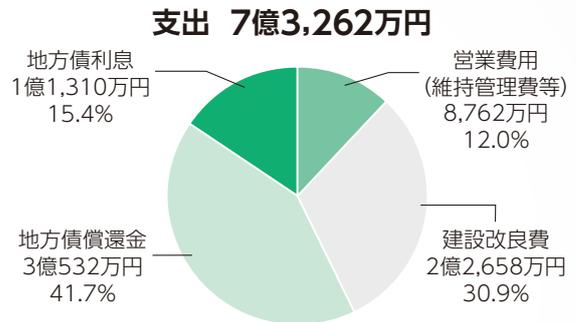
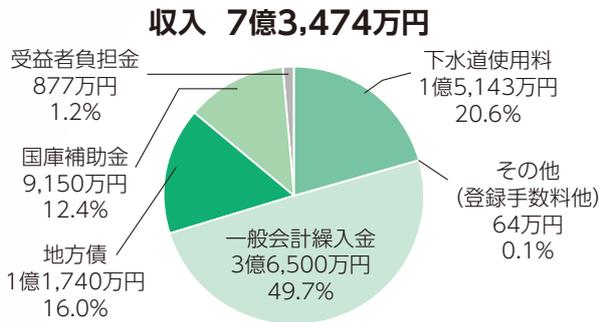
第1回遊佐小学校学校運営協議会 平成29年9月12日開催

コミュニティ・スクール （学校運営協議会とは）

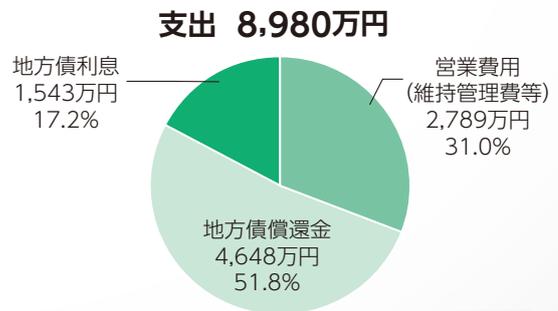
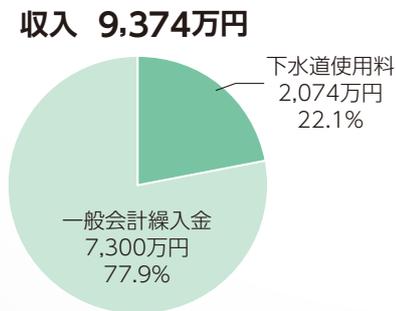
コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、三者が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいた仕組みです。法律の改正に伴い、設置が努力義務とされました。

平成28年度 下水道事業の会計決算状況

公共下水道事業



地域集落排水事業



● 下水道事業の会計について

遊佐町の下水道事業は、公共下水道事業特別会計と地域集落排水事業特別会計の2つの会計で運営しています。

公共下水道事業特別会計では、遊佐浄化センターに流入する区域の皆さんから納付していただいた使用料や一般会計からの繰入金を財源として、浄化センターの維持管理や地方債の償還(返済)を、国の補助金や受益者負担金、地方債を財源として下水道施設の建設を行っています。

地域集落排水事業特別会計では、豊岡、直世、杉沢、藤井の4つの農業集落排水処理施設と、比子簡易排水処理施設に流入する区域の皆さんから納付していただいた使用料と一般会計からの繰入金を財源として、5つの処理施設の維持管理や地方債を償還しています。

● 下水道整備計画について

昨年度、鹿野沢集落の整備が完了し、平成29年度は上蔵岡集落と大蔵岡集落の整備に着手しています。3月末には供用開始する予定です。平成30年度は、上蔵岡・水上集落の整備を予定しています。

● 地方債残高の推移

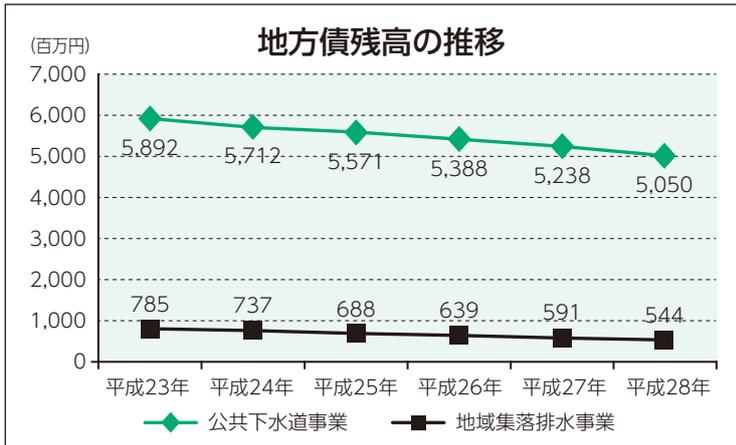
公共下水道会計の地方債残高は平成19年にピークを迎えましたが、建設改良などの投資的経費を抑制し、計画的に地方債残高の減少を図って

います。今後も計画的な地方債の借入れと、償還に必要な財源の確保に努めていきます。

● 下水道への接続をお願いします

下水道の利用可能な区域に住んでいる人は、下水道への接続が義務付けられています。多額の費用をかけて整備しても、皆さんから下水道に接続してもらわなければ、施設を維持していくことはできません。供用開始された地域の皆さんは、一日も早く下水道へ接続していただくようお願いいたします。

地方債残高の推移



● 図 地域生活課下水道係
72-5894

裁判の状況をお知らせします

健全な水循環の保全が必要 町はその重要性を訴えています



H29.11.28区長全体研修会より
(採石場における緑化の状況確認)

平成28年11月に町が規制対象事業として認定した臂曲地内における新たな岩石採取事業計画の規制を巡っては、山形地方裁判所において川越工業㈱との間で係争中であり、提起されて一年が経過しようとしています。

これまで町は「遊佐町の健全な水循環を保全するための条例」の適法性や条例運用の正当性を主張し、町民共通の財産ともいべき水環境、水資源の保全の必要性を訴えてきました。

法廷での口頭弁論における主張概要については、以下のとおりです。

【第1回口頭弁論（平成29年4月25日）】

原告である川越工業㈱からの訴状陳述に対して、被告である町が争う旨の答弁書を陳述。
(訴状の概要については、平成29年5月1日号をご覧ください。)

【第2回口頭弁論（平成29年6月27日）】

町が係争の意向を示し、訴状に対する認否および反論の準備書面を陳述。

- 町条例制定の経緯と適法性
- 地下水脈を損傷する具体的危険性
- 公有地化の協議
- 本件行政処分 of 適法性
- 損失補償の要否
- 原告への求釈明
- 原告の法令違反

【第3回口頭弁論（平成29年9月12日）】

町の準備書面や証拠書類に対して、会社側が認否および反論の準備書面を陳述。

- 地下水脈を損傷する具体的危険性に対する反論
- 被告の調査に対する反論
- 公有地化の協議
- 町条例の違法性
- 本件行政処分の違法性
- 損失補償の要否
- 被告からの求釈明
- 原告の調査および考察

【第4回口頭弁論（平成29年12月5日）】

会社側の準備書面や証拠書類に対して、町が認否および反論の準備書面を陳述。

- 町条例の違法性に対する反論
- 原告による国定公園内での操業
- 新たな採石事業計画の影響
- 原告の調査および考察に対する反論

各回の口頭弁論では、事前に原告側および被告側より主張内容等を記した準備書面の提出があるため、10～15分程度で閉廷しています。

なお、第5回口頭弁論は、平成30年3月5日に予定されており、誰でも傍聴することができます。

また、準備書面等の写しについては、役場企画課内で閲覧することができます。

● 圃／企画課企画係 ☎72-4523

平成29年度 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣団員決定



「わたしたちは遊佐の国際交流親善大使」

平成29年度 派遣団員名簿

| 区分 | 番号 | 氏名 | 性別 | 勤務先・学校名 |
|-----|-----|---------------------------|-------------------------|-------------|
| 団長 | 1 | 本宮 茂樹 <small>しげき</small> | 男 | 副町長 |
| 中学生 | 2 | 阿部 時史 <small>ときふみ</small> | 男 | 遊佐中2年 |
| | 3 | 阿部 佑香 <small>ゆうか</small> | 女 | 遊佐中2年 |
| | 4 | 伊藤 翼 <small>つばさ</small> | 男 | 遊佐中2年 |
| | 5 | 遠田 拓海 <small>たくみ</small> | 男 | 遊佐中2年 |
| | 6 | 川俣 光音 <small>こうね</small> | 女 | 遊佐中2年 |
| | 7 | 佐藤 明空 <small>あずく</small> | 男 | 遊佐中2年 |
| | 8 | 佐藤 野道 <small>のみち</small> | 男 | 遊佐中2年 |
| | 9 | 高橋 乃愛 <small>のあ</small> | 女 | 遊佐中2年 |
| | 10 | 水沼 紗都 <small>さと</small> | 女 | 遊佐中2年 |
| | 高校生 | 11 | 佐藤 亜紀 <small>あき</small> | 女 |
| 一般 | 12 | 佐藤 優介 <small>ゆうすけ</small> | 男 | 遊佐ブランド推進協議会 |
| 事務局 | 13 | 渋谷 遥 <small>はるか</small> | 女 | 町民課町民係 |

ハンガリー・ソルノク市派遣事業は今回で27回目となります。今年度の団員は、中学生9名、高校生1名を含む13名です。12月11日(月)に行われた派遣団員任命式では、町長が「例年は女子生徒が多いが、今回は男子生徒が多い。国際交流は理屈や頭ではなく、ハートが大事」と団員を激励。団員も「積極的にコミュニケーションをとりたい」「文化・食生活の違いを肌で感じたい」などの抱負を語りました。

1月13日(土)からは、3月の出発に向けた研修会が始まりました。研修会では、ハンガリー語や歴史・文化を学ぶとともに、日本文化や遊佐町について、ハンガリーの皆さんに伝えるためのスキルを身につけます。

派遣期間は3月21日(水)祝〜28日(水)の8日間です。団員は期間中ソルノク市役所をはじめ、幼稚園、芸術小学校などを訪問するほか、3泊4日のホームステイを体験する予定です。

☎ 72-4523

● 企画課企画係



研修にも熱心に取り組んでいます。

ふるさと想ひつむ

第22回

凡事徹底を
常に心がけています



JR東日本仙台支社
ほんま みずき
本間 瑞樹さん
(菅野谷地)
平成5年4月生

現在のお仕事について

陸羽東線、陸羽西線、石巻線や仙石東北ラインを走っている車両のメンテナンスを行っています。子どもの時から機械いじりが好きで自動車メーカーに就職することを考えていたのですが、自分の整備した車両に乗ったお客さまの笑顔を見たいという思いから、鉄道車両のメンテナンスの仕事に就きました。故障の予兆を見つけ事故や列車遅延の原因となる前に修繕することで、鉄道を利用するお客さまの日常を守ることができると、やりがいを感じています。

遊佐町へのメッセージ



鉄道を利用するお客さまの日常を守ります。

遊佐町の魅力は、豊かな自然とそれに育まれた食べ物のおいしさであると思います。遊佐町を知っている職場の先輩は、あんなに大きくおいしい岩ガキを他に知らないとい口を揃えて言います。「移動に長い時間がかかり行きづらい」という理由だけで、遊佐町の魅力を知らない人は多いと思います。遊佐町を多くの人に知ってもらうため、乗って楽しい列車をおすすめすることで力になっていきます。

昨年は後輩社員が入社したことで、指導育成に携わる立場となりました。これまで以上に私自身が果たすべき役割や責任を感じ、誇りを持って業務に就いています。

鳥海山・飛島ジオパーク リレーコラム

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第38回》 ジオパークの効果って？



宮城学院女子大学
教授
宮原 育子 氏

日本のジオパークは2017年現在で43地域となり、その活動範囲は、34都道府県、74市、64町、21村、合計159市町村に及びます。日本の市町村数は1,718ですので、その約9・2%の市町村が鳥海山・飛島ジオパークの仲間と言えます。2017年10月には、日本ジオパークの全国大会が秋田県男鹿半島・大潟ジオパークで開催されました。その際、全国のジオパークからの参加者のうち38名が、鳥海山・飛島ジオパークに足を延ばして、鳥海山麓や飛島の自然のすばらしさを堪能しました。ジオパークの活動では、他のジオパークを訪れて、他地域の良さを知り、ジオパークに関わる人々と親しく交流をすることで地域の活性化につなげる取り組みも



ジオパーク全国大会にて九十九島を見て回る参加者

盛んです。ジオパークでのガイド活動やジオツアーの企画・販売、ジオに育まれた食材での商品開発、小学校や中学校の教材作りなど、ジオパークになったからこそできる新しい活動もたくさんあります。ジオパークは、そこに住む人々が市や町の境界を越えて、大きな自然の仕組みを科学的に理解し、来訪客にその面白さを伝え、そのことで地域での暮らしをより豊かにしていく活動だといえます。これからも全国のジオパークの仲間とともに活動を盛り上げていきましょう。



Town Report

タウン

リポート

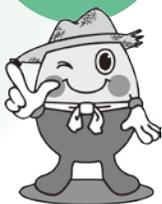
まちの話題

住みたい田舎ランキング 遊佐町が東北エリア総合ランキング3年連続5位以内に

月刊誌「田舎暮らしの本」2月号に掲載されている第6回日本「住みたい田舎」ベストランキングにおいて、遊佐町が東北エリア総合ランキングで、4位になりました！今年で3年連続ベスト5位以内となりました。

このランキングは、自治体の支援策や移住者数、自然環境、子育てのしやすさなど194項目アンケートにより選出されたものです。

この表紙が目印です



◎「小さなまち」グループでは東北3位！

今年671の自治体に参加したランキングでは、人口10万人以上の「大きな町」と10万人未満の「小さな町」の2つのグループに分けられました。遊佐町は人口10万人未満の「小さなまち」のグループにエントリーされ、565自治体のうち、全国総合ランキングでは28位。東北エリアでは3位となりました。

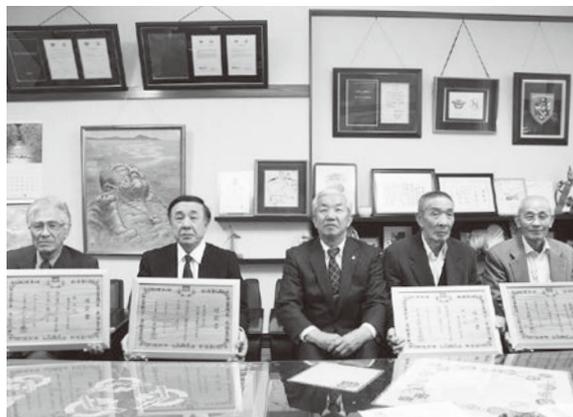
本町の平成28年度の移住者数は22組60人。平成29年度は16組35人を見込んでいます。若者世代や子育て世代が住みたい田舎として、上位になるよう支援を充実させ、移住された方も町民も定住につながるような支援策に取り組んでいきます。

● 企画課定住促進係
☎ 28-8257

※株式会社宝島社『住みたい田舎暮らしの本』
2018年2月号

平成29年度「里の名水・やまがた百選」に選定されました

「里の名水・やまがた百選」は優れた湧き水を名水と位置付け、水資源保全や観光振興などにつなげるため山形県が選定を行うものです。今年度新たに本町の丸池様、牛渡川、滝の水、釜磯海岸の計4カ所が選定され、各保存団体の代表者が選定書の交付を受けました。平成27年度に選定された胴腹滝等を合わせると町内では7カ所選定されています。



各保存団体の代表が町長に選定の報告に訪れました。

受賞おめでとうございます 平成29年度経済産業省大臣官房審議官 感謝状

11月30日(木)、山形テルサで第44回山形県統計大会が行われ、小澤徹さん(横町二)に経済産業省大臣官房審議官感謝状が贈られました。小澤さんは、経済活動や工業の実態を明らかにするために経済産業省が主管する構造統計調査(経済センサス、工業統計調査等)に長年従事。多年に渡る功績が認められ、今回の受賞となりました。おめでとうございます。



構造統計調査に対する多年の功績が認められました。

フォト トピックス

Photo
Topics



蕨岡地区無火災千日達成



1月9日(火)、蕨岡地区の無火災千日達成表彰が行われ、酒田地区広域行政組合消防本部と町より表彰状が蕨岡まちづくり協会と消防団第2分団に授与されました。蕨岡地区は平成27年4月12日から無火災で、1月6日に千日を達成。地域防災活動の取り組みが評価されました。

防災の意識新たに火の用心



1月7日(日)、遊佐町消防出初式が行われました。式では分列行進やはしご乗り演技が披露され、1年の無火災を祈念しました。

1年の飛躍を祈願して



1月6日(土)、農業者トレーニングセンターで和道会遊佐支部の空手初稽古が行われました。幼稚園・保育園の年中組から一般まで29名が集まり、新年の澄んだ空気の中で汗を流しました。



地域に根付いた学習内容は総合学科ならではの

12月15日(金)、生涯学習センターホールで遊佐高等学校90周年記念事業「生まれ変わる遊佐高校く総合学科での学び」発表会が行われました。発表会では各年次に分かれ、それぞれ共存の森事業やイバラトミヨの生誕、遊佐町カルタ・紙芝居を使った取り組みなど、総合学科ならではの地域とつながりのある学習内容を発表しました。また、同日から21日(木)にかけて生涯学習センター3階では、総合学科の学びの成果となる作品や研究発表の展示も行われました。

遊佐高等学校創立90周年記念事業 総合学科で学んだこと



華麗なブロックが炸さく裂!

12月9日(土)町民体育館にて、遊佐町総合型スポーツ文化クラブ「遊's」による「遊'sソフトバレーボール交流大会」が開催されました。ソフトバレーボールは、軟らかい専用のボール使用し、バドミントンコート内で行う誰でも楽しめる4人制のバレーボール。町内外から男女混合の8チーム39名が参加し、爽やかな汗をかきながら交流を深めました。

熱戦!「ソフトバレーボール交流大会」

スポーツクラブ COCO BIG

※本事業はスポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

おたより大募集！

日頃感じていることや心温まるエピソード、広報の感想など、あなたの声をお寄せください！ご投稿は投書ハガキどうぞ。

●問／企画課企画係 ☎72-4523

まちかど
Town Voice

ホット ライン

読者の広場

遊佐駅「米くちゃん」ベンチ 設置記念セレモニー

12月18日(月)、遊佐駅で「米くちゃん」ベンチ設置記念セレモニーが開催されました。当日は遊佐駅構内に設置された「米くちゃん」ベンチの前で、少年町長の森谷龍大さん、時田町長、安部則秋羽後本荘駅長らがテープカットを行いました。この事業は、第15期少年議会が「電車の待ち時間を過ごす場所が無い」という問題を解決するために取り組んだ提言政策。「米くちゃん」ベンチは遊佐駅の他、生涯学習センターや子どもセンター、エルパにも設置されています。



滝ノ浦地区の「アマハゲ」は、他地区と違い声を発しません。

怠け心を諷める 小正月行事「アマハゲ」

1月1日(月)祝、6日(土)にかけて、吹浦の滝ノ浦、女鹿、鳥崎の各集落で遊佐の小正月行事「アマハゲ」が行われました。アマハゲは、平成11年に国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗行事。鬼



遊佐駅をよく利用する、生徒ならではの視点で取り組まれました。



サンタに扮した生徒たちによるパフォーマンスが披露されました。

12月21日(木)、遊佐中学生が町内の福祉施設にお餅を届ける「心もち運動」が行われました。福祉施設では利用者の皆さんに良い新年を迎えてもらおうと、生徒たちがお餅や千羽鶴を届け、併せて踊りや合唱を披露しました。この日届けられたお餅は、先立って12月11日(月)に生徒会執行部が行った街頭募金活動などの歳末助け合い運動によるもの。皆さんの思いやりの

の面とわらでできたケンダンをまとったアマハゲが各戸を回り、怠け心をいさめ、五穀豊穡、無病息災を祈願します。アマハゲは、秋田県の「ナマハゲ」と共に「来訪神行事」としてユネスコ無形文化遺産の登録をめざしています。

思いやりをお届けします

…遊佐中学生による心もち運動

まち協インフォメーション

西遊佐 「西遊佐まちづくり計画 ～ひらけゆく西遊佐～」

みんなが生きやすい地域をめざして、平成27年に西遊佐まちづくり計画を策定しました。新企画だけでなく既存の事業を広げていくことで「ひらけゆく西遊佐」をめざして活動してきました。新しいまちづくりセンターを拠点にした今年度の活動を振り返ってみましょう。



畑名人の指導で藤崎保育園児や藤崎小学校児童と芋植え。



ふれあい祭りでカラオケ大会。抽選会も参加者多数で今年も祭りは大盛況。



夏フェスタ。キッチンカー・カレー屋の出店、クラフトマーケット開催。



敬老会で新区長を土俵入りで紹介。出席者から拍手喝采。



困っている高齢者を支援する地域支え合い活動「エプロンサービス」開始



門松つくりの先生の指導で住民と子ども達がミニ門松作り。



佐藤 優介さん(中吉出)

Yusuke Sato
昭和61年生まれ

座右の銘は「明日は明日の風が吹く」

■一言／

遊佐ブランド推進協議会に勤めています。私の仕事は、主にセミナーの企画運営、周知活動を担当しています。例えば、広報に折り込まれるセミナーのチラシは、大体私が作っています。参加者の方から感謝の言葉をいただくと、とても励みになります！

趣味は旅行で、去年は青森県下北半島を車で一周してきました。その土地ならではの文化や風習にとっても興味があって、雰囲気や食事、地酒などを楽しんでいます。現地民との交流も楽しみの一つ。道行く人や居酒屋の店主に、現地の人しか知らないようなお話を聞いたりもしています。次に行くなら北海道か沖縄、国外ならエジプトに行ってみたいと考えています。

好みのタイプは落ち着いた方。一緒に旅行に行ってみたいです。

■町への要望／

民間企業が、もっと元気になるようなまちづくりをしてほしいです。



わらを手の中で編んでいく「縄ない」はまるで魔法

新しいナデぼうきで新年の準備！
藤崎小学校5年生がナデぼうき作りに挑戦

心が、生徒たちの手によって福祉施設の利用者の方々に届けられました。

遊佐刺し子の集大成

この度、遊佐刺し子についてまとめた本「遊佐刺し子に遊ぶ」が発行されました。この本は「遊佐刺し子とその歴史」研究会(代表…佐藤いづみさん)が発行する書籍

12月20日(水)、藤崎小学校5年生がナデぼうき作りの体験学習を行いました。この授業は、田植えを体験する「いなほ学園」の活動の一環として取り組まれました。児童たちは秋に刈り取ったわらを使い、地域の方から教わりながらナデぼうき作りに挑戦。慣れない「縄ない」に苦戦しながらも、楽しく自分のナデぼうきを作りました。

で、「遊佐刺し子に遊ぶ」「続・遊佐刺し子に遊ぶ」に続く第3弾。地域の知的財産である遊佐刺し子を保存していきたい、という想いで制作されました。書籍は町内の小学校や図書館に寄贈され、町内の書店でも購入できます。



先人から受け継いできた、遊佐刺し子の魅力が詰まった一冊です。

集落支援員だより

初めての冬に備えよう！



こたつで温まりながら、冬の生活の知恵を共有します。

昨年末、NPOいなか暮らし遊佐応援団主催の移住者交流会「冬支度の会」が開催されました。

遊佐町の冬を初めて迎える人たちは、心配なことだらけ…こたつに入っておやつを食べながら、冬の暮らしのヒントを紹介しました。こたつにホース、窓に養生シート、水道の凍結防止など、長年住んでいる人にも大変参考になる会でした。

知らないことがたくさん聞けて良かった！色んな人と知り合えた！と感想をいただきました。今後も生活に役立ち、また出会いの場としての交流会にしていきたいと考えています。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子 ☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆげ店2階)